

LLL の概要

Life Long Learning programme in Clinical Nutrition and Metabolism

LLL とは

臨床栄養において多くの研究成果や人材を有する一方で、栄養教育を非常に重要視してきたヨーロッパ臨床栄養・代謝学会(European Society for Clinical Nutrition and Metabolism、以下 ESPEN)は、2005 年から医療者を対象とした画期的な栄養教育プログラムである“Life Long Learning(LLL) programme”を開始しました。LLL は、Web 上での e ラーニングで、アクセスが容易な “on-line course”(オンラインコース)と、より包括的な学習が可能な対面講習の“live-course”(ライブコース)が用意されています。各領域のトップリーダーによって、臨床栄養に関する高度な知識を、可能な限りエビデンスに基づき、ESPEN でのコンセンサスを盛り込んだ教育内容が提供され、また、数年毎に見直しが行われる等、上質な栄養サポートを目指す臨床栄養従事者にとって非常に魅力的な内容となっています。現在では、世界中の臨床栄養代謝学会の会員や、栄養サポート従事者が受講し、日本においても ESPEN と JSPEN での交流事業の一環として、JSPEN 主催のライブコースが開催されています。

ESPEN の Web サイト上にある LLL オンラインコースは、ESPEN の会員資格は必要無く、E-mail アドレスがあれば、アカウントを作成後、どなたでも無料で受講が可能です。総論から各論まで、臨床栄養に関する多くのトピックが用意されており、まず興味のあるトピックからご覧になっては如何でしょう。テキストやテスト等の教材は基本的に英語で用意されていますが、辞書を片手に学習する価値があり、素晴らしい内容となっています。

LLL の受講開始方法

LLL の受講にはアカウントの作成(個人の登録)が必要です。特別な資格は不要で、登録・受講とも無料(オンラインコース)です。ESPEN LLL Web サイト : <https://lllnutrition.com/> の画面(図 1)から”Registration to LLL Programme”、ログインページ(図 2)から”Don't have an account ?”、アカウント作成ページ(図 3)。登録に必要な項目は氏名、ユーザー名、メールアドレス、パスワードです。登録情報はメールアドレスを基本にしていますので、後日の変更は困難です。変更する可能性が少ない個人のメールアドレスでの登録が推奨されています。

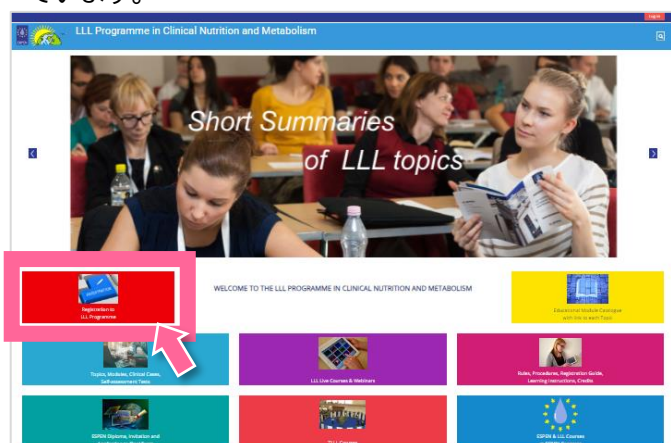


図1

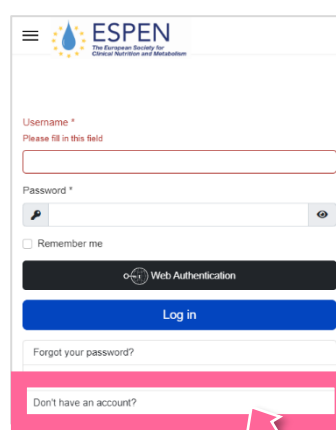


図2

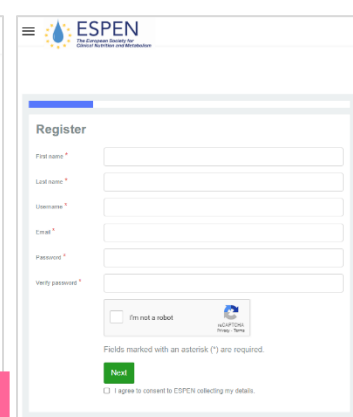


図3

オンラインコース(on-line course)

LLL は 38 の“topic”で構成されています。各 topic は 2～6 個の“module”に分けられ、随時追加・修正が行われています。英語以外の複数言語でも記述され、受講者への配慮がされています。各 module には“case”(症例検討)と“self-test”(自己診断テスト)があり、繰り返し演習することで習熟度が向上します。topic 内の全 module の self-test で合格点が得られれば topic 毎の“grading quiz”(topic の卒業試験)を受けます。ただし self-test は何回でも受けられますが、grading quiz は 2 回しか受けられません。2 回目も不合格の場合、その topic については二度と合格できなくなりますので注意が必要です。オンラインコースの受講者は世界中で 25000 人以上に達しています。

ライブコース(live-course)

オンラインコースの各 topic に対応したライブコース(受講は有料)が、ESPEN の年次総会時や、各国の臨床栄養代謝学会主催で開催されています。前述のようにライブコースの目的はオンラインコースの内容の特に重要なポイントの確実な習得であり、講習内容は基本的にオンラインコースに沿ったものです。受講者は 1 コースあたり 50 名以内と少人数で、1 コース 4 時間の講習時間内に、3～5module についての講義、症例検討、意見交換が行われます。テストに合格すると“diploma”(合格証)が、不合格の場合は受講証明書がそれぞれ発行されます。ライブコースには受講回数の制限はありませんので、合格するまで何回でも受講可能です。ESPEN2014 では 18 コースが開催され、それまでのべ参加者は約 20000 名になっています。

クレジット(credit)

LLL の受講を一つの資格として担保するためのクレジット制度が設けられています。オンラインコースでは一つの module を履修して self-test に合格すると 1 クレジット、各 topic の grading quiz に合格すると 4 クレジットが取得でき、ライブコースでは、テストに合格し、certificate(合格証)を取得すると、1 コース毎に 4 クレジットが与えられます(以前は 3 クレジットだったため、データ上過去のものは 3 クレジットのままになっているものがありますが、実際には過去にさかのぼって 4 クレジットでカウントされます)。クレジットの合計が 100 に到達すると“ESPEN LLL Final Examination”(最終試験)が受講でき、これに合格すれば“ESPEN European Diploma in Clinical Nutrition and Metabolism”が取得できます。

ESPEN LLL Final Examination(最終試験)

ESPEN LLL Final Examination(最終試験)は、毎年 9 月に開催される ESPEN の年次総会時に施行されています。100 問の試験が受験者の学習範囲に応じて用意され、3 時間の試験時間で行われ、正解率が 80% で合格となり、ESPEN diploma が授与されます。世界で百余名の ESPEN LLL Final Examination 合格者があり、日本では 2019 年 9 月時点で 30 名の方が diploma を取得されています。

●[ESPEN Diploma of Clinical Nutrition , Final Exam.](#) (YouTube)

JSPEN と LLL

JSPEN は積極的に教育事業を展開し、栄養療法の基礎教育を充実をさせてきました。そして、国際的な栄養教育の中・上級コースである LLL の日本への導入を、ESPEN の全面的な協力の下ですすめ、2009 年から LLL ライブコースを開催しており、2013 年までに 8 回、計 54 コースを開催しました。受講者数はのべ 584 名、合格者数はのべ 413 名、合格率は 71%で、ESPEN 主催のライブコースを上回る合格率を得ています。講習は ESPEN 主催のものと同じ内容で、日本人講師が日本語で講義することにより言語と地域・文化・人種によるギャップを解消し、受講しやすくなっています。また、テストに合格すれば ESPEN 主催の LLL と同様のククレジットが取得でき、ESPEN LLL Final Examination 受験に向け、クレジットを貯めることができます。渡欧する必要がなく、国内で比較的容易かつ安価に講習が受けられ、また、少人数制で、講師や受講者間で活発な議論・意見交換が行われるなど、多くのメリットがあります。医師にとって、ライブコースの受講は、JSPEN 認定医・指導医の認定・更新の資格条件に設定されております。

LLL は全ての医療従事者に開かれています。スキルアップのため、そして、全ての患者さんのために、LLL に登録し、JSPEN-LLL ライブコースの利用をお願い致します。

「静脈経腸栄養」LLL 特集号へのリンク

- [特集:ESPEN-LLL に学ぶ\(前編\)](#)
- [特集:ESPEN-LLL に学ぶ\(後編\)](#)
- [特集一覧](#)